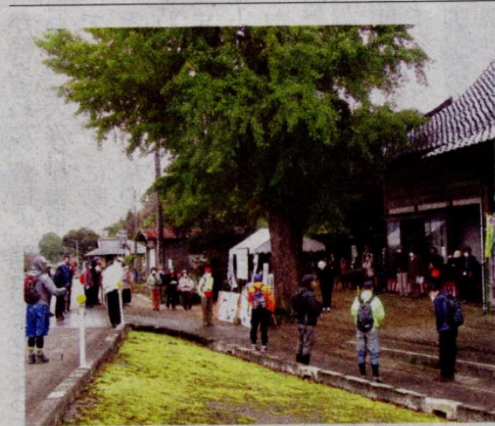


# 護持会広報

令和3年11月12日付 両丹日日新聞

一日お遍路さんで50人が石仏巡り  
 夜久野高原の88カ所コース  
 福知山市夜久野町と兵庫県朝来市にまたがる夜久野高原八十八カ所石仏巡りコースで7日、初めての「石仏巡りの日」一日お遍路さんがあった。好天に恵まれ、両市の一般の人ら約50人が参加し、色付き始めた紅葉を楽しみながら歩いた。

高原の夜久野茶堂（放光院）や石仏巡りコースを維持・管理する「放光院護持会」（吉



一番札所がある夜久野茶堂に集まった参加者

井正喜代表と高原の観光推進を図る夜久野町の「やくの絆の会」（森山龍彦会長）が企画。参加者は体力に合わせ、距離別に設定された3コースに分かれて巡った。一巡すると四国の霊場めぐりと同じ功德が得られると伝わる。全札所を訪ねる満願コースには16人が参加し、6きの道のりを途中でボランティアガイドに石仏や史跡などの説明を受けながら約3時間30分かけて一周した。ハイキング気分の人や石仏1体ずつに願をかける人など参加スタイルはさまざまで、それぞれのコースの前後には関係者が付いて安全に気を配った。

アンケートでは「近くにいても知らないことが多くて勉強になった」「四季を通して訪れたい」「石仏の保護に協力していきたい」などと好評だった。

放光院護持会では、昨年の春頃から石仏や祠の修繕、参道の整備、ガイドブックや案内人役の確保、予算捻出などの準備を進めてきました。

昭和61年8月28日付の新聞によると「夜久野88ヶ所巡り振興会（山東町・和田山町・夜久野町）が結成され、多くの観光客が一日お遍路さん体験に参加し茶堂・宝山周辺で賑わいが見られました。しかし、時代の推移とともに衰退して今日に至っています。

以来35年を経た令和3年、再び放光院護持会や絆の会の連携のもとに復活させることが出来ました。地域活性化の事例とも言えます。三郷の人々の協力あつてのことだと思えます。感謝



石仏巡りコース図の拡大版



満願コース流石の脚力

昭和61年8月28日

(日刊 日曜・祝日休刊)

## 眠る石仏群にスポット

### 夜久野88カ所巡り

この夜久野八十八カ所の石仏は、江戸時代後期の文十四年（一八一七）に発掘されたという。同高野の中央なす山、緑豊かな道約六、八十八体の石仏が点在する。その石仏は、四国霊場の札所と同様の般若、私所等が刻まれ、その地に私所師像が並んで建つ、自然の中にひっそりと眠り、あまり知られていない。

この夜久野八十八カ所の石仏は、江戸時代後期の文十四年（一八一七）に発掘されたという。同高野の中央なす山、緑豊かな道約六、八十八体の石仏が点在する。その石仏は、四国霊場の札所と同様の般若、私所等が刻まれ、その地に私所師像が並んで建つ、自然の中にひっそりと眠り、あまり知られていない。

その三町は、この石仏群を通じた「里見し運動」が進行中で、新しい夜久野巡り、さらに都市と農村の交流、みそ開始。

来月15日に150人のツアー  
 受け入れ準備に大わらわ

今月八日には、三町の連絡に、佐藤康郎、夜久野町商會若くは初会を待たず、十日、副会長に森本一、和田山町、朝来市、山東町、同業連合会を結成した。会長、工長を選び、大副会長に

関係者、地元長らが役員を務める。石仏巡りは、金約六のコース。普札所、石仏があふれる夜久野茶堂を起点に、高原の山を歩き、形を巡る。石仏の数が集まる宝山は、一部新しい山道もあるが、ハイキングには絶好のコース。同業連合会は今後、盛りや

## 将来の観光名所に隣接3町で振興会

### 隣接3町で振興会



発行所  
 両丹日日新聞社  
 福知山市鶴尾新町1丁目  
 電話 22-2688 代表  
 ファックス 22-3232  
 振替口座 京都5-42028

あじふんの  
 キャンプサービスコーナー  
 営業時間を延長  
 平日午後七時まで  
 土曜午後七時まで  
 日曜午後三時まで

第2、第3土曜休日誌ご利用いただけます。午後3時まで

福知山信用金庫